

りつめい

題字・末川 博名誉総長

立命館大学校友会報

R
RITSUMEIKAN

+R 未来を生みだす人になる。

立命館大学

NO.
233

2008
JULY

特集

立命館生命科学の時代
―生命科学部・薬学部がBKICに誕生

Brilliance
輝くひと
66

「タレントマネージャー」という病気に
罹っています!」

(株)ホリプロマネージメント第二事業部
チーフマネージャー
五間岩 ゆかさん (61政策)

03 特集

立命館生命科学の時代

— 生命科学部・薬学部がBKCに誕生

その1:座談会「高度で人間性豊かな医療薬剤師を育成」

川端和子 滋賀県薬剤師会会長

谷口吉弘 生命科学部長・北泰行 薬学部長

その2:写真でみる生命科学部・薬学部

01 輝くひと

五間岩ゆかさん

10 RITSUMEI INTERVIEW

市民と手を携えて
「京都市力」が輝くまちづくりを

京都市長

門川大作さん



14 恩師の窓

杉野絜明先生・須原美士雄先生

中村義孝先生・小林紘士先生



16 学びの交差点

自分らしく安全な食生活を送るために
— 社会の中での食、生命の連鎖としての食

建山和由 理工学部教授

河村律子 国際関係学部准教授

22 2008年度校友会幹事会報告

24 オール立命館校友大会2008・RITSUMEX'08 ご案内

25 校友会ネットワーク

26 キャンパストピックス

28 校友会ロゴマークができました!!

29 輝いています、ときの人

田中 潤さん

30 学生のスポーツ&イベント

32 INFORMATION



表紙の人



(株)ホリプロ マネージメント第二事業部
チーフマネージャー

五間岩 ゆか さん ('01政策)

“タレントマネージャーという病”に 罹っています!

5月のある昼下がりに、五間岩さんは自ら世に出したタレントのユンソナさんと共に、大手広告代理店の新入社員研修の語り手を務めていた。「マネージャーは付き人ではありません。担当タレントの魅力と才能を花開かせるために、大小様々な戦略を立て、仕掛けていくプロデューサーです。仕事の9割は苦しくて辛い。でも、タレントが輝く姿を見た瞬間に、すべての苦勞を忘れてしまいます」。来日して間もない頃のソナさんに方針が理解されず、お互い泣くまでぶつかり合ったこともある。本番5分前、「今ここでやり遂げてくれたら、私が絶対に次に繋げる。私を信じて!」。ソナさんは涙の跡など微塵も見せず、見事に演じきった。「嬉しかった。あれが“マネージャーという病”に罹った瞬間でした」。2001年、31歳で入社してすぐに、ソナさん、平山あやさんらを次々とスターダムに押し上げていった五間岩さん。3年目でのチーフマネージャー昇進は、ホリプロ史上最速という。

五間岩さんは、28歳で政策科学部3回生に編入した。東京の芸術系短大卒業後、TBSラジオの情報キャスターになったが、もっと見聞を広めて第一線で活躍したい、甘えを捨てて精神的にも自立したいとの思いからベトナムへ渡った。ドイモイ政策によって豊かに変わる社会を肌で感じ、“政策”を次の学びの鍵と決めて帰国、立命館人となったのだ。「授業では社会の様々な課題をいかに改善させるか段階を踏んで考える訓練を繰り返しました。私にとって、政策とは戦略。私が用いる手法は、間違いなく立命館で学んだものです。大きな仕事を任されるようになった今、お世話になった大学や皆さんに恩返しをしたいと、ますます張り切っています」。

今秋には、ユンソナさんとの共著『絆』を幻冬舎から上梓予定。「この仕事の素晴らしさと、日韓間の厚い友情が成り立つことを伝えたい。そして女性にエールを送りたい。型通りでなくても、心惹かれた世界で精一杯今を生きていきたいと思います。女性校友の皆さん、まずは一歩です!」。

<http://www.horipro.co.jp/>

(写真・松村昭人 文・寺田直子)

立命館 生命科学の 時代

生命科学部・薬学部が BKCに誕生

生命現象にかかわる諸科学を総合的に研究する学問領域、ライフサイエンス。

このライフサイエンスは、医療・健康・環境・食糧・エネルギーなど

人類が直面する諸課題を解決しうる学問として、

大いに期待を集め、また急速な進歩を遂げています。

このような中、本年4月、びわこ・くさつキャンパスに

「生命科学部」「薬学部」が開設されました。

互いに連携し、教育・研究の成果を高めあうことを目指す

二つの新学部についてご紹介します。



高度で人間性豊かな 医療薬剤師を育成

川端和子 滋賀県薬剤師会会長・谷口吉弘 生命科学部長・北泰行 薬学部長

今 春「生命科学部」と「薬学部」が開設され

たびわこくさ

つキャンパス

(BKC)は、ラ

イフサイエンス

分野の教育・研究拠

点として新たなス

タートを切りま

した。

立命館大学から

高度な医療薬

剤師を輩出す

ることは、地

元・滋賀県をはじめ、日本

の産業や医療分野への貢献

につながります。

この度は、滋賀県薬剤師会会長の川端和

子さんをお招きして、昨今の医療事情なら

びに両学部への期待を、両学部長とともに

語っていただきました。



いま注目される

ライフサイエンスの可能性

谷口 20世紀後半から21世紀にかけて科学技術の進展のなかで、ライフサイエンスは急速に発展しました。ヒトゲノム解析というビッグニュースをはじめ、最近では、京都大学・山中教授が作成した万能細胞であるiPS細胞が大きく医療分野に貢献しようとしています。このように、ライフサイエンス分野での研究が産業や医療に結びつく可能性が出てきているわけです。

立命館大学では数年前から、各分野に分散するライフサイエンスの教育・研究を体系化し、研究者が交流するなかで学生が学べる環境をつくりたいと考えてきました。そしてこの度、融合型のライフサイエンス教育研究拠点として生命科学部と薬学部を設置したのでです。

北 薬学は、ケミカルバイオロジーという総合的な化学の分野です。日本の薬学はこれまで、創薬を最優先にした基礎化学を中心に行ってきました。しかし、医療が進歩するなか、薬学だけ

ではなく将来の日本の産業にはケミカルバイオロジーが大事だということになり、ライフサイエンスが重視されています。立命館大学では、ライフサイエンスを基本にして薬学が研究できるという、すばらしい環境が整いました。

川端 立命館大学が薬学部を設置されることを、滋賀県薬剤師会は全面的に応援しました。なぜなら、これまで滋賀県に薬大がなく、地元大学が滋賀県の薬剤師を育ててくれることは私どもの夢でもあったからです。また、滋賀県の薬剤師が不足していることも現状にあります。ですから、薬剤師養成に必要な6年制を選択してください。たださつたことも歓迎しました。

平成17年から、薬剤師の資格取得には病院と薬局での11週ずつの実習が必要になりました。滋賀県薬剤師会は立命館大学からの実習生に対応すべく、指導薬剤師の養成を急いでいるところです。

また、これからの薬剤師には、薬学の知識だけでなく、豊かな人間性が求められます。「生命倫理」や「いのち」についても学べる総合大学の薬学部出身の薬剤師はこの点についても、とても期待しています。





北 泰行 教授
総合理工学院 薬学部 学部長



谷口 吉弘 教授
総合理工学院 生命科学部 学部長



川端 和子 氏
滋賀県薬剤師会 会長

医療の高度化で 激変する医療環境

川端 昔に比べて、いまの若い医師には大量の知識が求められると言われていますね。

北 ささまざまな医療の領域が進歩したために、医師だけではついていけなくなっているのが実状でしょう。そこで、総合的に物事を考え、判断できる医師や薬剤師が必要になってきています。

川端 昔と違って、いまは調剤現場でも多くの機器を使用します。また、現在は患者さんに服薬する薬の情報を知っていただくことも大きな仕事のひとつになりました。短い間でこれだけ医療環境が変化しますと、薬剤師に求められる質も当然変わりますね。

北 薬剤師は医薬について一番良く知っているエキスパートなんです。その知識を生かして、医師と看護師の間をうまくとりもつことができる能力も必要です。

谷口 以前は調剤だけで良かったのに、コミュニケーション能力の有無も、医療人としての資質として問われる時代になったんですね。そのためには薬学の専門教育だけでなく、ライフサイエンスという広い裾野を理解させていくことが必要です。生命倫理や社会科学全般のカリキュラム体系を薬学のなかに組み込まないと、高度な医療人は育たないでしょう。

医療人にふさわしい 基礎教育の強化

川端 薬学部のカリキュラムにおいて、専門教育以外の科目はどんなものがあるんですか。

北 教養科目や基礎専門科目というのは生命

科学部とほとんど同じです。低回生のうちに、教養教育、あるいは医療人にふさわしい教育を受けることができます。コミュニケーション能力というのは、そういう時期に養われるのだと思います。

川端 立命館大学は総合大学なので、学部間の連携もとれますね。

谷口 生命倫理などについては、人文科学分野の先生から学ぶことができます。医療人としての職能教育を、基礎教育も含めてきちんとすることが、生命科学部と薬学部がセットになっている大きな理由だと私は思っています。

川端 最近の薬剤師には、業務としての薬歴管理などでは文章力も要求されます。

谷口 それは自然科学を学ぶ最近の学生にも言えることです。実は1回生後期から「アカデミック・ライティング」という科目があり、自分が立件した内容について文章化することの基礎を学びます。それ以外にも、国際的な通用性を養うためにプロジェクト型の英語教育を1回生から始めます。4回生終了時には、自分の意見を英語で言える程度になることを目標としています。さらには病院経営も学べるプログラムを用意し、製薬会社や医科大学との連携も深めていく予定です。

生命科学部と薬学部との 緊密な連携

谷口 薬学部があることで、生命科学部はより輝くと思っています。なぜなら、基礎から応用までを含む総合的なサイエンスである薬学部が隣



模擬薬局(サイエンスコア1F)



にあることは、生命科学部における教育の幅が広がり、新薬開発などにも十分に関わられるからです。

川端 ライフサイエンスの分野から新薬がたくさん出て欲しいですね。

北 日本で新薬が開発しにくいのは、最後の臨床試験が難しいからです。コスト面などから海外で研究をしてしまう。しかし、もう少し特化した新薬なら、ライフサイエンスの分野でつくられる可能性は高いですね。だから私は、薬学部と緊密に連携した生命科学部というのはとても意義深いと思うんです。恐らく、そういった連携から新薬が生まれる気がします。

いま基礎医学の研究者が非常に評価され、政府も研究支援をしています。若い人たちもそれを見て挑戦したいと思うはずで。医学だけでなくライフサイエンスも同様です。この点からも、生命科学部と薬学部のコンビネーションは、新たな研究成果を生む最高の環境だと思っています。

川端 これから、ますます優秀な学生が集まることが期待できるということですね。

薬学部で学ぶ 学生たちへの期待

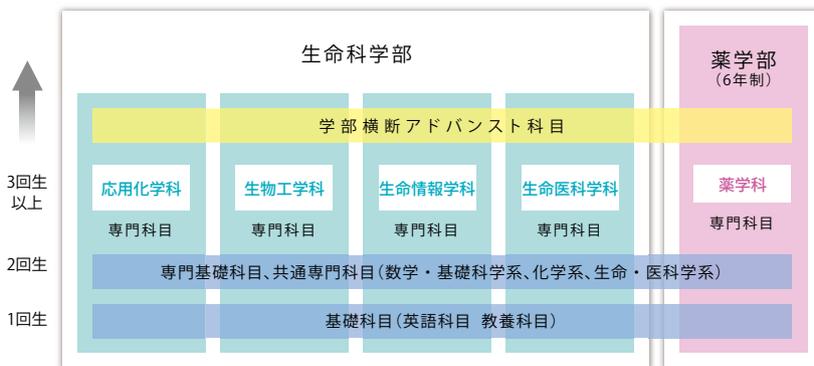
谷口 私どもは先進的な、そして患者さんの痛みがわかる人間性豊かな医療人を育てたいと思っています。医療現場で、立命館大学出身の薬剤師はちょっと違うな、と言われるような人材が育つことを期待したい。みんなから慕われる医療人を育てることが夢ですね。

北 それに加えて、研究マインドも大切です。実際に高い学問レベルで研究し、他の研究者の成果を吸収できるような薬剤師になって欲しい。

The Potential of Life Science

「生命科学部」「薬学部」の連携による総合的なライフサイエンスの教育・研究

生命科学部と薬学部は、総合大学の利点を活かし「学部横断アドバンスト科目」を設けるなど、連携・融合したカリキュラムを編成し、先進的で総合的なライフサイエンスの教育・研究を展開しています。さらに、複数学科を横断する科目を設けるなど、専門を深めるだけでなく幅広く知識を身につけることができます。



川端 薬剤師でありながら研究者であり、かつチーム医療のなかで活躍できる人間性に富む医療人の育成をお願いします。それから是非、立命館大学から新薬をつくり出してください。期待しています。

生命科学部

未来に貢献するライフサイエンスを創造する

人類永遠のテーマである生命のメカニズムの解明、そして、エネルギーや環境などの地球的課題に挑むのが、生命科学部です。医科大学や産業界、本学薬学部とも連携し、総合大学ならではの多様なカリキュラムを展開。新たなライフサイエンスを創造し、人々の豊かな生活や持続可能な社会の実現に貢献する人材を育成します。

- 薬学部とともに、総合的にライフサイエンスを探究。
- 医科大学と連携し、高度な教育・研究を展開。
- 各分野のエキスパートが揃う充実した教員体制。
- 専門分野に結びついたハイレベルな英語教育。

◆エネルギー、環境、食糧、医療、健康分野へ応用。多角的に生命科学を探究する4学科。

材料、エネルギー、環境などの課題解決へ、分子レベルからアプローチ

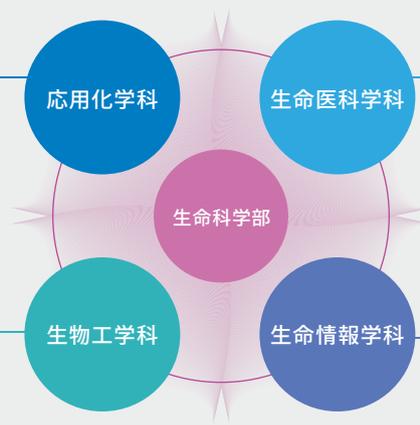
応用化学と生命化学領域

- ・ケミストリー
- ・ナノテクノロジー
- ・エネルギー
- ・バイオケミストリー

生物の構造や機能を解明し、新たなバイオテクノロジーを展開

バイオテクノロジーと環境領域

- ・バイオテクノロジー
- ・バイオエネルギー
- ・生物資源
- ・環境



生命の根幹を理解し、医科学の発展をめざす。

予防健康医学など医科学領域

- ・基礎医学
- ・予防健康医学
- ・ゲノム医学
- ・先端医療

生命科学と情報科学の融合による、バイオインフォマティクスを探究

生命科学と情報科学の融合

- ・バイオインフォマティクス
- ・システムバイオロジー
- ・ゲノム解析
- ・情報科学

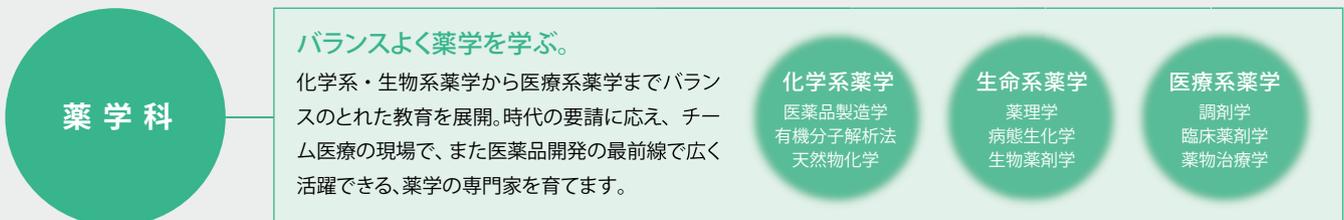
薬学部

先端医療を支える医薬品のエキスパートへ

薬学部では、薬剤師国家試験受験資格が得られる6年制のカリキュラムを展開。医療・医薬技術が急速に進歩し、ゲノム創薬やテーラーメイド医療が現実になりつつある現在、薬学部ではこれまでに立命館大学が培ってきた自然科学系研究を背景とした質の高い教育を推進しています。さらに生命科学部と連携し、ハイレベルな医薬品の専門家育てます。

- 高度な専門知識・技術を備えた薬剤師を育てる実務教育。
- 薬学部と融合したカリキュラムでライフサイエンスを探究。
- 薬剤師実務家や医師免許保有者を招聘した充実の教員体制。
- 総合大学の利点を活かした多様なカリキュラム。

◆生命科学部と連携した学び、総合大学だからできる学びを展開。



バランスよく薬学を学ぶ。

化学系・生物系薬学から医療系薬学までバランスのとれた教育を展開。時代の要請に応え、チーム医療の現場で、また医薬品開発の最前線で広く活躍できる、薬学の専門家を育てます。

化学系薬学
医薬品製造学
有機分子解析法
天然物化学

生命系薬学
薬理学
病態生化学
生物薬剤学

医療系薬学
调剂学
臨床薬理学
薬物治療学

施設編

写真で見る生命科学部・薬学部



サイエンス コア 外観

生命科学部・薬学部棟として「サイエンス コア」が新たに建ち上がりました。
施設の一部をご紹介します。

サイエンス コア
中庭にある DNA二重らせん構造のオブジェ

実験の様子



調剤薬局実習室



模擬薬局



クリーンルーム



学生実習室

「薬学基礎演習Ⅰ」

薬学部一回生の必修科目、「薬学基礎演習Ⅰ」。この授業では、一人ひとりの学生に薬剤師としてどのように活躍したいのかのビジョンを早くから持たせ、勉学のモチベーションを高めることをねらって、薬剤師の職場訪問・見学を行います。訪問先は、病院の薬剤部、調剤薬局、大手製薬企業の研究所など。各領域一人一回ずつ計三回、小集団に分かれて教員とともに出かけます。

その前段階として、社会人・医療人としてのマナーやコミュニケーションスキルを教える講義が行われています。この日は、「コミュニケーション」の二回目、「話す技術」の講義に続いて、職場訪問・見学に際しての注意点とグループ分けが発表されました。学生たちは、訪問日程表に見入りながら、期待感を語り合っていました。



薬学部早期体験学習の様子



担当教員 浅野真司教授のお話し

医療や薬の分野は、近年、急速に目ざましく進歩しています。立命館の薬学部では、六年間を通じた密度の濃い授業によって、知識・技術が確かなことはもちろん、倫理性も志気も高い「薬のスペシャリスト」としての医療人、薬剤師の養成を行います。

この「薬学基礎演習Ⅰ」は、入学したばかりの学生たちに、「薬剤師になるとはどういうことか」を一日も早く実感してもらおうための授業です。学生が薬剤師の責任の重さや遣りがいを感じ取り、今後の学びの糧とすることを期待しています。

学生には、病気の方やお年寄り、そのご家族に対して、高い技量と思いやりをもって尽くせる立派な医療人になってほしいと思います。校友の皆様からも深いご理解・ご支援をいただきたくお願いいたします。



職場訪問時の心構えを語る浅野真司教授

門川大作

さん(74法)

「市民と手を携えて 「京都力」が輝くまちづくりを

立命館校友初の政令指定都市市長

京都の公教育改革を断行し、輝かしい成果を上げた教育長として全国に名を馳せていた門川大作さんが、本年二月、京都市長に就任された。京都で生まれ育ち、京都で学んだ「生粋の京都人」が市長を務めるのは、第二十六代の門川さんが戦後初という。立命館大学にとっても、政令指定都市の市長を輩出したのは初めてのことである。

門川 選挙中も、市長に就任してからも、「門川さん、立命館ですね」と声をかけていただく機会が多くて、本当にありがたいと思います。思わず顔がほころびますよ。何とも言えぬ親近感が湧くものですね。私は本当に立命館が好きなのです。

笑顔で母校愛を語る門川市長に、まずは立命館の門をたたくまでを伺おう。

門川 私は一九六九年の四月、十八歳で京都市職員になりました。世の中が騒然としていた頃です。ベトナム戦争が激しく戦われる中で、「ベトナムに平和を！市民連合」などの反戦運動が盛り上がり、大学紛争も最も激しい時期でした。私は元来、机の前で勉強するよりも行動するほうが好きな質で、生徒会活動や反戦運動に熱中しまして、受験勉強もしておらず大学進学を一度は断念しました。そして、「家から一番近い職場」(笑)の京都市役所の試験を受け、偶然、教育委員会に採用されました。

いざ働き始めると、教育委員会ですから、学校の先生、それも立派な方々との出会いがたくさんありました。刺激を受けた私は、「もっと勉強しなければ」と強く感じました。それで、立命館の二部法学部に入學したのです。

立命館大学は、明治時代に勤労青年のために開かれた夜間学校に端を発している。それ以来、夜間に学ぶ学生は旺盛な勉学意欲と

自立心を受け継ぎ、門川さんが通った広小路学舎にもその精神が満ちていた。

門川 授業には真面目に出ました。立命館には、一部も二部も教学の内容に差をつけないという素晴らしい理念があり、同じ先生が教壇に立っておられました。末川博先生のお話も、今でもありありと思い出すことができます。大学での勉強を終えて、夜十時ごろに役所に帰り、夜中まで働いて、それから家へ帰る毎日でした。人事や総務の仕事をしていた時は、一月から三月にかけては猛烈に忙しかった。そういう時に、試験が重なるんです。それでも、夜間高校へ教育実習にも行きましたし、法友会(注：法律討論サークル)の役員もさせてもら



うなど、何でも意欲的に取り組
みました。

みな自立心を持っていて、自
らを磨いて世の中の役に立ち
たいという気概がありました。

そういう仲間たちや先生方、理
解を示して下さった職場の皆さんのおかげで、
困難にも立ち向かう力を身につけ、感謝の心
を深く知ることができました。私が今あるの
は、立命館の二部で学ばせていただいたおか
げです。立命館は私の誇りです。

四つのモットー

門川市長はご自身のモットーを、「人間浴」
「現地・現場主義」「共汗」「プラス思考」という
キーワードで表現している。これらはどんな
経験によって確立されたのか。

門川「人間浴」が、私は大好きです。人は人の
間でこそ成長すると信じ、たくさんの方と接
するよう心がけてきました。おかげさまで
多くのご縁ができましたが、そうした方々
のお言葉に最も力がこもるのは、お仕事の現場
での体験に基づく話をなされる時だと、気がき
きました。

私も現場を重視して、市の各職場や様々な
市民活動の場を連日のように訪ねることを
続けています。かつての私にとつての現場は
京都市立の各学校でした。大人の世界のイデ
オロギー闘争が教室に持ち込まれて混乱した
教育現場を立て直そうと、何度も足を運びま
した。そこで感じたのは、現場には様々な問
題があるが、同時に答えもあるということだ
す。改革の芽も、潜在力もある。しかし黙って
見ていては立ち消えてしまう。教職員の能力

Rits

見出し、引き出して、結びつける

そんな門川さんが理想とする市長像、そして市長としてやり遂げようとお考えのことは何だろうか。



や意欲を引き出したい、地域の力や保護者の力を学校の力と融合させたい。現場に出るたびに、そのためのヒントが見つかりました。「現地・現場主義」は、この経験からつかんだものです。

そして関係する誰もが時には実践者に、またある時は評価者になりうる相互関係を作り上げ、共に汗を流すことができた暁に、改革が進んだのです。こういう意味で「共汗」が大切だと信じています。近年、堀川高校の躍進ぶりが注目を集めていますが、優秀な教員を集めるようなことは一切しなかった。意識と行動の改革だけであげた成果です。そうでなければ、他の学校に良い影響を与えられませんが、私は普遍性のあることを大切にしてきました。堀川高校の改革に刺激を受けて、西京高校、銅駝美術工芸高校でも、更なる「奇跡」が起こるなど、すべての市立高校が今、輝

きはじめています。勝ち組、負け組は絶対につくらないのです。

「プラス思考」についてですが、京都市役所に対する様々な批判がある今こそ改革の大チャンスだと私は捉えています。どんな問題も受け止め方次第です。例えば、工事現場から鉄のボルトが落ちてきて、つま先に怪我をしたとする。困ったことですが、もし頭を直撃されていたなら、ただでは済みませんね。神様仏様に感謝して、ああ、よかったと考える。実は私は、七年前に胃ガンで胃を半分切除しました。入院前、父に病名を告げると、父は一旦ぐっと黙った後に、「百人の聖人の話を聞くよりも、一つの病に遭ったほうがいい。勉強やな」と。涙が出るほどありがたい言葉でした。「人生に無駄なこと無し。何でも勉強。迷ったら困難な道を選ぶ」。いつもこう考えて、元氣いっぱい生きています。

門川 市長選の最中に戴いたアドバイスに、「あなたの話には主語がない。「私がこれをしてきた。私が成果をあげてきた」と、断言しなさい」というものがありました。でもね、私が長年携わってきた京都の教育を考えると、主語を明言しなくなった時にこそ向上したのです。「私が」教育委員会がではなくて、「みんなで叡智を集めて」、「保護者や地域の人と一緒に」と言ったときに様々な改革が進みました。京都では明治の初めに、「番組」という自治組織によってたくさんの小学校ができました。地域の人々が、知恵とお金を出し合って創設した「番組小学校」です。その先人の心に学び、みんなで子供の教育について考えましょう、一緒に学校を良くしましょうと呼びかけたことで、素晴らしく変わったのです。主人公はあくまで市民の皆さんなのです。

私一人の力はわずかです。けれども敢えて申し上げれば、私には皆さんの力を引き出す力があるようです。京都のあちこちに別々に存在する多様な力を融合させるお手伝いをし、それが大きな総合力となってきたと思います。これからも、よりいっそう、そうありたいですね。

特にこれからは、政策の「融合」と「連携」が必要です。私が行政で一番問題と感じるのは、「縦割り」です。現在進める「歩いて楽しいまちの推進」という政策では、縦割りを排して「8K」の融合を主張しています。例えば、保

Daisaku Kadokawa



- 1950年 京都市に生まれる
- 1969年 京都市立堀川高等学校卒業
京都市教育委員会事務局採用
- 1970年 立命館大学法学部入学
- 1974年 同 卒業
- 1996年 京都市教育委員会事務局総務部長
- 1999年 同 教育次長
- 2001年 京都市教育委員会委員・教育長
- 2008年2月25日 第26代京都市長に就任

国の審議会委員等

- ◎中央教育審議会各部会委員
(2003年10月～現在)
(初等中等教育分科会、幼児教育部会、教員養成部会、
教育振興基本計画特別部会等)
- ◎内閣「教育再生会議」委員
(2006年10月～2007年12月)

門川市長の著書

『かくて教育は甦った
—市民ぐるみの京都市教育改革の実践』
(致知出版社) 本体1400円+税



健康の健康診断で、市民に健康のためマイカーをやめて歩くことを勧める。このことは、CO2の削減と公共交通の利用促進につながります。また途中で子どもやお年寄りに声をかける。更に、歩けば京都の景観の魅力を再発見でき、観光振興から経済活性化につながっていく。こう考えることで「健康」「環境」「公共交通」「子育て・教育」「コミュニティ」「景観」「観光」「経済の活性化」の八つの政策がつながります。更に「危機管理」と「国際化」を合わせ「10K」とも。このように、市民の皆さんの参画のもとに政策の融合を大胆に進めて、京都市民、行政の総合力をより発揮したいですね。

ために、さらに市政改革をし、それをやり遂げられる京都市役所をつくっていくのが、私の仕事です。そして地域主権時代のモデルになれるまちにしたい。京都なら、きっとできます。

**守る勇氣、変える勇氣を
母校の姿から学ぶ**

「立命館のおかげで今がある」とおっしゃる門川さんは、最後に、母校立命館を誇るもう一つの理由を語って下さった。

門川 いま地域主権の時代と言いましたが、私が現在最も危機感を覚えているのは、それに逆行して東京一極集中がどんどん進んでいることなのです。政治も、経済も、情報も、価値感までも、あらゆる面で。けれども教育界においては、この二十年間果敢に改革にチャレンジしてきた立命館の努力が、学問のまちとしての京都に、そして関西の各大学に輝きを

与えている。もしも立命館が頑張らなかったら、教育・研究の世界でも東京一極集中が進んでいたことでしょう。各地方に様々な価値があつて、それがバランスよく発展してきたからこそ今の日本があるのです。この意味では、立命館の挑戦は日本の大学教育を救い、発展させたと言えます。一貫した理念と大胆な発想、そして実行力。この三拍子が揃った立命館の改革は素晴らしい。かつての二部はもうありませんが、それも母校の発展のためには越えなければならぬことだったと受け止めています。

—私も、守るべきことは頑固に守り、変えるべきことは大胆に変える、その勇氣をもつて市政改革に邁進したい。「念守れば花開く」と思っています。今に心で「念」。徹底して一日一日を大切に、今に心を置く。もし念じなければ「無念」で、念じてもやらなければ、それは「残念」になる。そうならないように実行しよう。行動は、言を成すこと、「誠」である。こう思っています。

恩師の窓

恩師の近況や人となり、思い出を、教え子が紹介します



すぎのくにあき
杉野 圀明先生
名誉教授(経済学部)
地域経済学

先生からの一言

『観光京都研究叙説』の刊行については、ゼミ卒業生の皆さんにお世話になりました。今は大学の研究室を離れ、自宅で研究を続けています。国内外を放しながら、目下、ライフワークに取り組んでいます。乞う、ご期待。



教え子
望月 行夫
(89経済)
創業明治39年
(株)望月印章

「物

事はなあ、諸関係の中で考えんとあかんのや」。杉野先生は繰り返しゼミ生に説き続けていらつしやいました。

東京出身の私が立命館を志望したのは、司馬遼太郎の「花神」に立命館の記述があつたから。心構えが無いままの関西生活は、「同じ日本でもこんなに雰囲気が違うんだ」と発見の日々でした。そんな中、先生の地域経済論を知り、「地域性というものを具体的、体系的に学べるのでは」とゼミの門を叩きました。

先生は、学びに対してとても厳しく、一直線。ゼミでは三回生の夏に一つの町を訪ね、全員で各部門の実地調査を行い、一冊にまとめます。宮津市に合宿したのですが、夜毎、私たちの進捗状況を「なつちよらん」と叱咤。医療を担当した私は、看護学校を訪問するなど医療に関わる様々なことを調べ回り、合宿後も府立資料館に足を運んでレポートを補い、ようやく脱稿させました。卒業式の晩、伏見の寺田屋に集い、飲み明かしたことなど忘れ難いことばかりです。

ゼミでの体験は行動の幹となつていきます。卒業後、コンサル系の旅行会社に就職。企画書を作る上で大変役に立ちました。現在、家業である印章業(東京都新宿区)を営んでいます。自社だけではなく、お客様、職人さん、地域社会など「諸関係の中」での立場を考えながら務めています。

旅を愛し、酒を友とし、人情味溢れる杉野先生。そして、共に汗をかいたゼミの仲間たちは永遠に心の拠り所です。立命館大学に進み、杉野先生に出会えたことは僥倖でした。

退職後も先生は世界中を歩かれ、紀行文を出版されています。昨年一二六五頁の大作「観光京都研究叙説」(文理圏)を上梓。その好奇心とエネルギーは底無しのようにです。

また先生のパワーに触れなくなってきました。杉野ゼミOBORGの皆さん、先生を囲む会を開催しませんか?是非、「二報下さい」。

商

業地理学の重鎮として、長年にわたり衣笠の地で教鞭をとられてきた須原先生は、川西市、摂津市、長岡京市をはじめとする市史の商業・交通・住宅分野の編纂に参加されるなど、我々生活者にとつて身近に関わる、まちづくりの提言者としても活躍されました。地表上に起こる多種多様な空間現象のなぜを考える地理学の面白さを、師のゼミで存分に学ばせて頂いた当時が懐かしいです。

ゼミに集う仲間の研究テーマは、地域商店街の商業構造、娯楽施設や温泉地の観光産業、地方公共交通の実態など実に様々でした。調査上、人口や事業所統計など、膨大な資料の整理も伴う地理学ですが、各自が持ち寄ったデータをいかに抽出、活用するかというミクロ・マクロ両面での視座を、先生は懇切丁寧にご指導下さいました。加えて、文献研鑽や統計分析以上に師が重視されたのはフィールドワークでした。

データ収集や聞き取りなど、各人が研究地へと実際に自分の足で赴き、調査対象者とコミュニケーションを交えるなかでこそ、机上の議論の域を超えた確かで生きた情報が得られ、そうして創るがゆえに地理学論文独特といえる手づくりの温かみが込められる訳です。一足で稼げー恩師から受けた、泥臭くかつ人間味溢れるご教示でした。

昨年末、卒業後二度目のゼミ同窓会がありました。いつも和気あいあいとアットホームだった須原ゼミ。鍋を囲みながら、物心ついた頃が戦時中で、空襲で受けた爆撃音は凄まじく、幼い時分ながら鮮明に覚えていたという先生の話にみな聞き入りました。こうした昭和日本の生の記憶をお聞かせ頂けるのも須原ゼミの魅力なんです。二年前に退職された先生はいま現在、空中写真からみる瓦屋根の特徴を元に、庶民住宅地の分布研究をされつつ悠々自適にお過ごしであるとか。生涯ジオグラフィアーであり続ける恩師のなお一層のご活躍を切に願っております。



すはらふじお
須原 芙士雄先生
名誉教授(文学部)
人文地理学・商業地理学

先生からの一言

現役時代に研究したいと思いつつ出来なかった、都市庶民住宅の類型とその分布についての考察を、ぼつぼつながら始めています。卒業生の皆さんも、地理学的感覚を用いた独創的な物の見方を試みられてはいかがでしょう。



教え子
真鍋 一弘
(04文)
(株)サン放送アカデミー所属
フリーアナウンサー

恩師の窓

恩師の近況や人となり、思い出を、教え子が紹介します



なかむら よしたか
中村 義孝先生
名誉教授(法学部)
西洋法史(フランス)

先生からの一言

元気に(g)、明るく(a)、一所懸命に(i) (gai) がゼミのモットーでした。gaiはフランス語で愉快な、楽しいという意味。どんな仕事をしていてもこれが一番大切なことです。校友の皆さんも(gai)で頑張ってください。

大

学を卒業してから五年、私たちはそれぞれ、名のちの輝きを見つめるために、中村先生から学んだ「G(元気に)A(明るく)I(一所懸命に)」というフランス語をモットーに日々奮闘しております。

中村先生は、フランスの法制史学会 (La Société d'Histoire du Droit) で唯一の日本人会員という研究者であり、私たちににとっては来年度より実施される我が国の裁判員制度の参考となったフランスの陪審制度の研究を進めるゼミの教授、就職部(現キャリアセンター)部長、体育会弓道部部长として御活躍された教育者であり、しかも本学卒業生として半世紀の長きにわたり後輩の指導に情熱を注がれた生粋の立命人です。私たちをはじめ、今でも卒業生が先生の下を訪れて、御指導を仰ぐのは、その魅力あつてのことなのでしょう。

特に、私たちの代は卒業と先生の定年退職が同時であったことから、「思い出づくり」と称して何かにつけて先生と相談し、企画を立案した結果、二年間でゼミ合宿を四回、遠足を一回、旅行を国内外一回ずつ、懇親会を七回以上もの行事を実施できました。卒業時には集大成として『退職記念ゼミ論文集』も発行することができ、先生の御指導により学業もさることながら社会人として生きる心構えを学びました。

ゼミを通じての年代を越えた縦のつながりと、今では異業種となったゼミ仲間との横のつながりは社会人の縮図だったのかもしれない。個性溢れるゼミ仲間と培った友情は、今でも私たちにとって大きな財産となっております。また近いうちにゼミ仲間と先生を囲んで、お酒を飲みながら、じっくりと「熱い」お話を伺いたいと思っております。



教え子
石丸 幸弘
(03法)
(株)デンソー 勤務



教え子
石本 昌之
(03法)
明治製菓(株) 勤務



こばやし ひろし
小林 紘士先生
名誉教授(理工学部)
構造力学

先生からの一言

公共事業予算の縮減傾向の中、皆さんの仕事では、他社に対する優位性確保、新たな領域の創出などが強く求められています。研究開発あるいは連携により新しい仕組みを作り出すことが重要と思います。いま産学官連携研究開発の支援をする仕事(理工医薬など広い分野)を楽しんでいます。共同研究、Drの指導など大学にも時々現在の。

桜

咲く四月になると、希望に胸を膨らませて、小林先生の研究室の門を叩いたことを今でも思い出します。先生は大変厳しく指導をすることで有名で、敬遠する学生も多かったようである。しかし、卒業研究を真面目に取り組みたいと考えていたので、取って小林先生の研究室を選択した。

主たる研究テーマは、橋梁の耐風工学に関する研究であった。当時は長大橋建設が盛んな時代であり、この分野の先進的な研究をなされていた。先生は「二番煎じ」となる研究が大変お嫌いだったと記憶している。パイオニア的な研究をするために、実験装置のほとんどが手作りであった。当初抱いていたイメージとのギャップを感じたが、やってみると案外面白いもので、最後には研究の虜になった。他に例のない研究道具を新たに作り出す姿勢は、パイオニアを目指す先生の研究姿勢そのものであった。

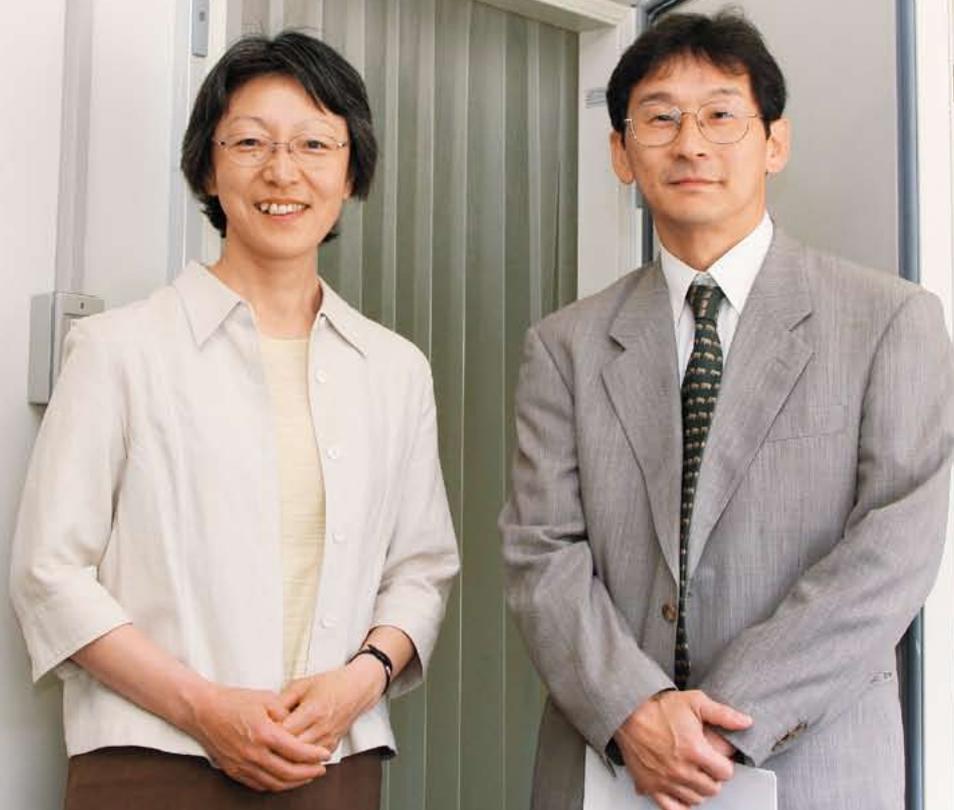
また、先生は学生の自主性を非常に尊重しておられ、決してご自身のお考えを強制されることはなかった。何も分からないなりに、文献を読んだり、実験や解析を繰り返したりしているうちに、技術者あるいは研究者としての自我に目覚めさせられたように思う。さらに、先生と接することで、工学研究に対する基本的な姿勢(自前の研究道具の開発、研究アプローチのための思考方法、異分野知識の積極活用による技術革新への意欲、基本的な物理現象をしっかり見極めようとする姿勢等々)を肌で感じることができた。今では、私の貴重な財産である。

小林先生は、現在、(独)科学技術振興機構「JSTサテライト滋賀」の館長を務めておられ、産学官連携による新しい研究の芽を育てておられる。いつもパイオニア的な研究を目指しておられた先生にはふさわしいお仕事である。小林先生のますますのご健勝とご活躍をお祈りする次第である。



教え子
畑中 章秀
(93院理工・博後)
(株)ニチゾウテック
技術コンサルティング
事業本部勤務

植物工場実験設備
生産・施工研究室（建山研）



学びの交差点

自分らしく安全な 食生活を送るために

——社会の中での食、生命の連鎖としての食

建山 和由 立命館大学理工学部教授

河村 律子 立命館大学国際関係学部准教授

「食」の研究に たどり着くまで

建山 ようこそ、生産・施工研究室へ。ここは土質実験室という一画で、ちよつと雑然としていて申し訳ありませんが、よろしくお願ひします。

河村 こちらこそ、お願ひいたします。今日は「食」について、久しぶりに建山先生とお話しができてということ、楽しみにしていました。まず、「植物工場」の施設を見せていただきたいのですが。あの箱型の、簡易ルームのようなものがそうですか？

建山 はい。まあ、中へどうぞ。これで四畳半の部屋くらいの大きさです。気温二十五度、湿度七十%を常に保っています。照明は、蛍光灯と発光ダイオード（LED）によって完全に人工的に、光や温度の違いによって成長の仕方がどう変わるかを調べています（写真1）。

河村 水耕栽培ですか？

建山 そうなんです。葉もの野菜をつくるのが多くて、栽培マニュアルに従って育てれば、種ま

きをしてから約四週間で、ほとんど失敗なく収穫できますよ。

ただ、常時人工照明で、空調も使いますので、非常に電気を食うんですよ。我々は、やはり自然のエネルギーを使うほうがいいと目覚めました。太陽光で栽培するための実験施設が、外にあるガラスの温室です（写真2）。仮に都会のビル街のような、周囲を壁に囲まれた環境でも光を確保できるように、反射板を利用した光ダクトを併用することも考えています。正直なところ、太陽光で育った野菜のほうが、私には美味しく感じられますし。

河村 そのほうが栄養価も高いですね。先ほどの人工照明、水耕栽培という条件下では、病虫害をほぼ完全に防げるのが利点ですが。

建山 ただ、太陽光利用の場合、夏場に温度が上がりますので困ります。いろいろ試行錯誤して、どんな植物工場がいいのかを提案していきたいと思っています。

河村 この、乾いてしまっているのはコケでしょうか？

建山 スナゴケです。とても強くて、水をかければ

復活します。いま、コケは建築材料として注目されているんですよ。コケは、根が無い植物なので土がいりません。このため建物の屋根だけでなく壁に施して、緑化に利用することができます。ただ、春季と秋季の限られた気候下でしか育たず、あとの期間は休眠してしまふ、つまり成長が遅いのが難点です。そこで、植物工場で環境を整えてやることで供給量を増やせないかと思ひまして、私は元々土木の人間ですから。

河村 そうですよ。所属も「建築都市デザイン学科」でいらっしゃいますし。

建山 私のことは、また後でお話しするとして、河村先生は、なぜ「食」や「農業」にご関心を持たれたのですか。

河村 私ですか？ 私は器用貧乏で、それがかえって良くないような…（笑）。学生時代は、農学部の中の農林経済学科という、理系の学部の中の文系の学科にいたのですが、正直言ひまして、どうしてもそこで学びたいという強い気持ちで入ったわけではありませんでした。ところが授業を受けてみると、「農学原論」が非常に面白かった。「農」とは何か、人間の「食」というものをどう捉えるか、そういう根本的な問題を考えよう、というもので。それで「農」の周辺を学ぶ楽しさに目覚めて、「農村社会学」に取り組むことになりました。農村ではどのような暮らしが営まれているのか、村をどうやって維持しているのか、あるいは農村の家族、ことに女性の役割はどうなのか…。こんなことを調査していました。まだパソコンなど無くて、結果の分析には大型コンピュータを使っていた時代の話です。私は情報処理担当教員として立命館にまいりましたが、それはこのような経歴によるのです。

国際関係学部に来てからは、世界の農業・食料問題、食の安全性や、食料生産と絡んだ環境



写真1:人工光のもとで育つ葉菜（建山教授提供）



写真2:太陽光利用の植物工場実験施設

建山和由



問題などの領域にまで関心が広がりました。でも普段一緒に仕事をしているのは、近隣府県の農業関連の方々などがほとんどで、いたってドメスティックな生活を送っています(笑)。ところで建山先生は、そもそもの土木から、どうして…。

建山 土木の分野には、工学の他の分野、例えば機械の製造などとはずいぶん事情が違うところがあります。それは不確定要素がとても大きいということですが、トンネルを掘る前には調査をしますが、実際には掘ってみないとわからないことが多くありますし、雨が降れば仕事が進みません。確実でない部分を抱えながら立てる工事計画は、もし不都合なことが起こっても何とか達成できるように、ゆとりを含みがちで、結果として必要以上のエネルギーや資材の投入を許してしまいます。そこで、現場の状況をより丁寧に把握して、工事計画をより適切に行う仕組みをつくるという「情報化施工」の研究が必要になり、私はずっとそれに取り組んできました。

ある程度ノウハウが得られたので、これを別な分野でも活かさないかと考えるようになりました。エネルギー、環境、食料といった大きな課題を思い浮かべましたが、土に関係が深いということで、食料生産、農業に着目しました。農業には、まだマネジメントが十分には浸透していないだろう、その点からも、我々のノウハウが役立つのではないかと思って、食の領域に分け入っていったのです。

河村 なるほど。そうだったんですか。

建山 しかし、農業の諸問題について勉強するうちに、生産技術にまつわる課題もあるものの、消費者側もしっかりしないと農業はうまくいかないし、安全な食生活も望めないのではないかと思うようになりました。生産者と消費者の乖離が進みすぎて、消費者は生産者や加工担当事者の動向を知りたくても知り得ない。その結果、無関心になりすぎてしまっている。こんなわけで、この頃は、消費者と生産者の信頼関係を都市機能の中でどうしたら作り上げられるのかということに関心をもっています。

生産者と消費者の距離を近づける試み

河村 とても興味深いお話ですね。生産者と消費者の距離は、かつてはとて近かったのです。顔の見える範囲の農家から、お米や野菜を買って食べていて、ところが、いま私たちが食べているものを作ってくれた人の顔は、まじく見えません。食料自給率は四十%を切っています。その大きな原因のひとつは、飼料の七割以上が外国産だということなんです。飼料に限らず外国

から来る食べ物が増える一方です。

それに、生産・流通・消費のいずれの過程においても、言葉が過ぎるかもしれないませんが利潤の追求を第一に動いてしまっていることが、良くない結果を招いていると思います。

建山 そうですね。儲けて悪いわけではないけれど、守るべきところは守っていただかないと。

これは(図1)、以前河村先生のお知恵も拝借してつくった、社会にどんな仕組みをつくれれば安全な食の自給が可能になるかをまとめた図です。まず消費者は、食についてもっと意識し、正しい知識をもち、賢く要求できるようにならないといけません。生産・流通に携わる人は、消費者のまっとうな要求に応えられるシステムを築く必要が

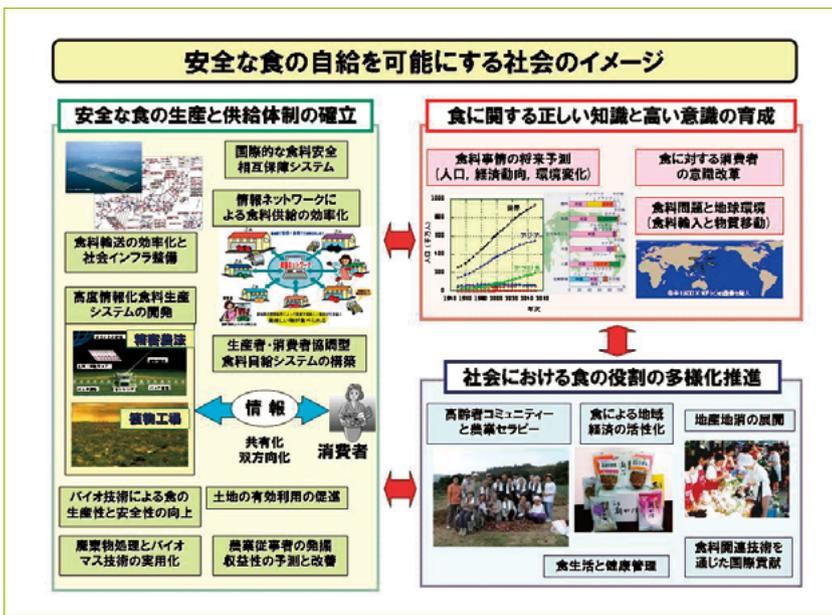


図1 (建山教授提供)

ある。それから、食というものは、地域経済やコミュニティ形成にも貢献しますから、各自自治体でも生産者と消費者の距離を近づけて信頼関係づくりにつなげる方法を模索していますね。例えば地域ぐるみで、その街の「食へのこだわり宣言」に賛同しているとか、給食の地産地消を進めようとか。こういう運動を、バランスよく発展させることが大切だと思います。ちなみに先ほどご覧いただいた植物工場の実験は、図1の左下の「高度情報化食料生産システムの開発」に関する試みの一つとして取り組んでいます。

河村 給食の地産地消って、なかなか難しいのですが、それを分かった上でも皆さん努力しておられますね。丹波の旧・園部町（現在南丹市）でも、農家の女性グループが請け負ってやっています。献立に必要な材料を全量供給するのはとても無理なのですが、できる範囲で、臨機応変に地産の食材を使う術を、農家グループと学校側がとてもし上手に作り上げています。農家は、市場に卸すより安い価格で供給するケースもあるでしょうが、誇りをもってやっていますし、子供たちも、あそこのおばちゃん畑の野菜だと言って喜んで食べている。他の町でも、事例がいくつもありますよ。

それから、ファーマーズマーケット、農家による直接販売ですね、これも時々行われていますね。

建山 あれは、新鮮で美味しいものが買えて、とてもありがたいです。ただ、どうしても街中ではなかなかできなくて、都市住民の普段の生活の中になんてやって組み込むかが課題ですね。

河村 駅前や街の広場に、一週間に一回でも必ずファーマーズマーケットが立つということになれば、定着するんですけれどね。あとはインターネットで受注する宅配など、工夫して。

建山 それで顔なじみになって、消費者のほうから田植えや草取りなどを手伝いにいける関係が築けたらいいですね。こんな具合で、社会科学系の興味関心のほうが膨らんで、アイデアも湧いてきまして（笑）。

河村 食は人間の暮らしに不可欠なものですから、社会と切り離しては考えられません。食について考察すると、おのずと社会に目が開かれていくんですね。

都市に「植物工場」をつくってみると

河村 植物工場の話に戻りますが、十数年前からとどこどこで見かけるようになりましたね。生産技術の話になると、私には手が出ませんが、いろいろな研究が進むのはとてもありがたいです。ただ、実際の生活にどう活かせるのか、地に足のついた形で技術開発が進展してほしいなと思うのです。

建山 そうですね。どう使うかは二の次で、とにかく新しいほうへのめりこみがちなのが技術者の癖でして…。私の実験など、「今さら太陽光で？古いな」と、過去の技術のように受け取られたりもします。

河村 それはおかしいですよ。開発途上国の事情なども考えれば、人工光源・完全空調によるよ

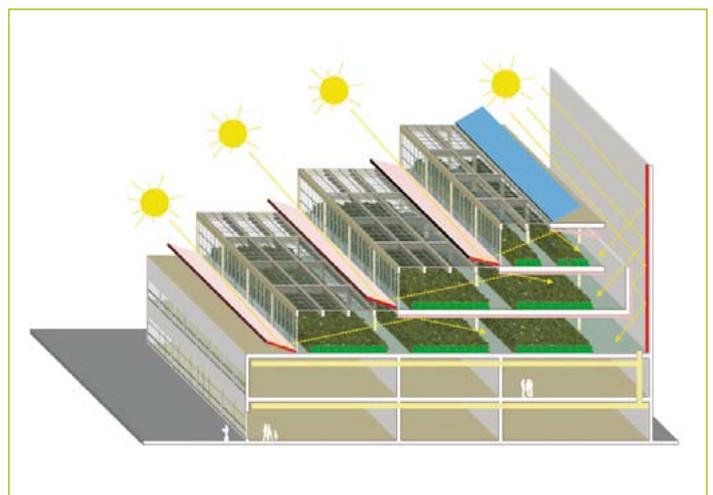


図2: 太陽光利用型植物工場のイメージ (建山教授提供)

りも、建山先生がお考えのような太陽光を使う技術のほうが、はるかに利用度が高いじゃないですか。

建山 それでね、今、このようなものを作りたいなど（図2）。建築都市デザイン学科の教員らしく、建物と植物工場をうまく組み合わせたいものをも思いつて。植物工場を、例えばマンションやショッピングスペース、レストラン街に併設して、レストランでは工場から収穫したばかりの野菜を使った料理を出して…というふうに、人が集まること

河村



律子



建山 和由 (たてやま かずよし)

略歴

1985年京都大学大学院工学研究科土木工学専攻博士課程単位取得満期退学。工学博士(京都大学)。京都大学工学部助手・講師・助教授(当時)を経て、2004年立命館大学理工学部教授に就任。2008年教学部長。

専門分野

地盤工学、建設施工における新技術開発、情報化施工研究

主な著作

- ◎今後の建設施工の機械化—試行的ロードマップ作り(建設の施工企画, No.695, pp.6-12, 2008/01)
- ◎建設施工における情報の役割と活用方法(基礎工, Vol.35, No.9, 54/9, pp.6-9, 2007/09)
- ◎太陽光併用型植物工場における光の効率的な利用システムの検討(植物環境工学(J.SHITA), Vol.19, No.2, pp.59-65, 2007/06)
- ◎Geomechanics -Interaction between ground and construction machinery and its application to construction robotics (Journal of Terramechanics, Vol.43, pp.341-353, 2006/07)
- ◎盛土施工におけるコンクリートエンジニアリングの展開(土と基礎(地盤工学会誌), 54/9, pp.30-32, 2006/09)

ろで野菜の生産と消費を並行してできればいいのではないかと。その街に住む人がみんな一緒になって食や農を考えられるようなシステムができればいいなと思っています。

河村 この階段状の工場は面白いですね。私、以前読んだ海外の文献を思い出しました。地球はいったい何億人を養えるのか。田んぼや畑を何層にも重ねることができれば、二百億、三百億まで大丈夫なのではないかと(笑)。まあ、そういう実効性がどこまであるかは別として、食の生産現場から切り離されてしまっている都会の人々に、野菜が育つ姿を身近に感じてもらえたいというだけでも、ずいぶん意義があることだと思います。先ほどおっしゃった、田植えの手伝いに行ければいいというお話しも、行政やNGOなどの努力で、類似の仕組みが点から線くらいには育ってきています。けれども例えば京都市民一四七万人のうち、どれだけの人が実際に参加しているのか。まずは都会に栽培の場をもってきて、これはとても重要な、私たちの生活の一部なのだと認識してもらおうことが大切ですね。

食の本質は「他の生命を頂戴する」こと

建山 このように、街中に農作物の生産現場がある、すなわち、生産者と消費者がすぐ近くにいられるということは、良い意味での緊張感が保たれ、両者の倫理観が育って、信頼関係を築くことにつながりますよね。

世の中で、どんどん分業化が進んでいます。食品に限らず、例えばパソコン、机、あるいは車でも、誰が作ってくれたものかはわかりません。しかし私たちは不安を持たずに使えますよね。この手の工業製品は品質管理がしっかりしていて、もし問題が起ころうとすぐに是正できる仕組みが確立されていますから。けれども食の分野では、その仕組みが整わないままに流通の範囲が広がり、分業も進んで、倫理観もあいまいなまま今日まで来てしまった。これは大きな問題だと受け止めています。この都市型の植物工場が、それを少しでも良い方向へ導くきっかけ

になればと思うのです。

河村 倫理観については、いろいろと内部告発なども出てきて、このままではいけないという意識を持つ人が以前より増えてきたのは喜ばしいことです。

食の問題の難しさは、ひとくくりに「こういう食が理想である」とは語れないところにあると私は思っています。皆の共通認識と言えるのは、「身体に有害な食べ物は嫌だ」という点だけではないでしょうか。農薬の使用をどの程度認めるのか、輸入食品をどこまで許容するのか等々、人によって基準はまちまちです。それから例えばトマトにしても、栄養価が高くて美味しい夏場のものを食べられれば十分だという人もいれば、冬だからといってサラダにトマトが入っていないのは淋しいと思う人もいます。味や食感の好みも様々です。建山先生は太陽の光で育った野菜のほうがいいとおっしゃるようですが、最近では「生で食べるには人工光源で育った柔らかい野菜のほうがいい」という声も聞こえてきます。こうしていろいろな要求をするにもかかわらず、「なるべく安いものが



河村 (丸岡) 律子
(かわむら (まるおか) りつこ)

略歴

1990年京都大学大学院農学研究科農林経済学専攻博士課程単位取得満期退学。農学修士(京都大学)。龍谷大学経済学部非常勤講師を経て、1998年立命館大学国際関係学部助教授(当時)現在准教授。

専門分野

農村社会学、農業経済学、応用社会統計学

主な著作

- ◎政策評価制度によせる期待(『都市政策・京都』Vol.21,pp.65-77,2008/3)
- ◎農業開発における環境への対応(科研費報告書『グローバル経済化のもとにおける資源・エネルギー・食糧問題と環境政策』pp.71-81,2005/3)
- ◎食の多様性と農業の展開方向(唐沢敬編著『越境する資源環境問題』日本経済評論社,pp.146-164,2002/7)
- ◎選ぶ農業を支援する体制づくり(共著)(京都府農業会議農政研究資料,01-113号,2002/3)

よい」と言うものですから、偽装が起きたりするのですよね。

ではなぜ、食については共通の理想像が描きにくく、細部にわたる管理もしにくいのかと言いますと、食料の生産はすなわち、植物であれ動物であれ、生命体を生み出す行為だからです。そして我々も、他の生命を頂戴して生きている動物であるというところに根本があるのだと思います。だからこそ食べ物は大それた食にしなければいけなく、みんな、生命の連鎖としての食についてしっかりと考え直さなければいけません。

選択肢を増やし、自分らしい食行動を

く、安心もしやすいのは地産地消なのですが、日本国内だけを考えても、特に大都市圏では、地産地消にこだわっている食生活が成り立たないのは明らかです。逆に、大都市圏から遠い地方の農業は、作物が都市に運ばれ、消費されるのが前提となっています。曲がったキュウリを見かけなくなったのは、見た目が悪いからというよりも、箱の中にうまく並べられない、つまり輸送しにくいからなんです。

現代の食には、自然に逆らって無理をしているところもいろいろありますが、その無理をやめようとすると、別の思わぬところにもっと大きな歪みが生じてくるかもしれません。食の問題は、複雑に絡み合っているのです。

建山 それならば、社会のいろいろなところから小さくてもいいので行動を起こし、そして食行動についての選択肢を増やしていくことが、まずいいのではないのでしょうか。私の研究も、ささやかですが技術面からのアプローチの一つです。そうする中で、各人が自分らしい食行動を見つければいいのです。

河村 なるほど。そのくらい感覚がちょうどいいのかもしれないね。

ところで、植物工場の研究は、他にはどういう方面で生かされそうですか？

建山 そうですね。学会での研究の主流は、人工光源・全空調の施設のほうなんです。多分、月面や宇宙ステーション、あるいは極地での使用を視野に入れてのことでしょう。

河村 宇宙ですか。スケールが大きいですね。

建山 私も実は、月面に関する研究をしていますよ。そもそもの専門である建設施工の技術開発の見地からですけども。重力が地上の六分の一しかない月面で、埃のようなフワフワの土を掘るにはどんな機械がいいか、月面走行車をうまく走らせるにはどうしたらいいか……。けれど、これもなかなかものにならない(笑)。

河村 いろんな種をまいてみて、どれかに美味しい実がなればいいじゃないですか。研究成果は、工場で生産できるものではありませんから(笑)。

*地産地消
ある地域で生産された農産物・水産物を、その地域内で消費すること。

2008年度 校友会幹事会報告

6月7日(土)午後1時から校友会常任幹事会、続いて午後2時30分から幹事会を、いずれも衣笠キャンパスにて開催した。

校友会三役(会長・副会長・監事)・常任幹事・幹事の約250名が全国各地から参集した。

幹事会は、以学館1号ホールにて開催。川口清史総長から「学生の要望、社会からの要請に応えつつ、改めて教育・研究・スポーツのいずれにおいても飛躍を目指すよう気を引き締めて臨む。校友の皆様には立命館学園を引き続き支えていただければ幸いです」とのご挨拶を頂戴した後、山中諄校友会長を議長として議事を進めた。

報告事項

常任幹事会にて審議・承認された以下の事項につき、報告が行われた。

① 校友会役職者(2008～2010年度)について

今後3年間の校友会三役・常任幹事・幹事の氏名が報告された。吉田美喜夫前副会長の任期満了に伴い、新たに肥塚浩立命館副総長が副会長に就任された。吉田氏を除く三役諸氏は再任。

② 校友会各種専門委員会と委員について

今年度、ホームページやメールマガジン、SNS等の校友会活動への活用方法を検討する「IT委員会」、校友のニーズに沿った各種事業の企画立案・運営を担う「事業委員会」が新たに発足。既存の「総務」「財務」「広報」各委員会とあわせた5つの専門委員会ならびに各委員会委員氏名が報告された。

③ 2007年度決算・2008年度予算について

渡辺三彦財務委員長より報告があった(別表の通り)。続いて、林幸雄監事より、適正な執行がなされている旨、監査報告が行われた。

④ オール立命館校友大会2008(仮称)実施概要について

西村義行副会長より、実施計画の概要や準備状況について報告された。11月1日(一部企画は2日)、ホテルグランヴィア京都をメイン会場に、在学生との協力関係を密にして開催する(概要は本誌p.24をご参照下さい)。



審議事項

① 新卒幹事候補者の承認

2008年3月卒業の9氏(各学部からの推薦による)を、新幹事として承認した。

② 推薦校友の承認

1名の方を承認した。

③ 校友会会則の一部改正

会則の文言を、時代と実態に即した、かつ精緻な表現に一部改正した(会則全文は校友会ホームページをご参照下さい)。

すべての議事が終了した後、立命館学園の人事異動により10年間にわたる校友会事務局長の任を退いた志垣陽氏からご挨拶を頂いた。なお、後任の事務局長は、武田敦立命館大学教育文化事業部次長が務める。

【2007年度決算】

● 収入の部 (単位:円)	
科目	決算額
前年度繰越金	16,520,539
会費収入	229,626,000
資産運用収入	2,862,838
大会収入	6,067,000
その他収入	24,474,321
合計	279,550,698

● 支出の部 (単位:円)	
科目	決算額
人件費支出	20,754,535
一般経費支出	38,166,906
組織強化費支出	47,838,217
事業費支出	95,685,827
*特別会計繰出	54,500,000
予備費	0
次年度繰越金	22,605,213
合計	279,550,698

【2008年度予算】

● 収入の部 (単位:円)	
科目	予算額
前年度繰越金	22,605,213
会費収入	236,400,000
資産運用収入	1,300,000
校友大会事業収入	11,600,000
その他収入	5,400,000
合計	277,305,213

● 支出の部 (単位:円)	
科目	予算額
人件費支出	27,250,000
運営費支出	15,626,000
組織強化事業支出	49,410,000
校友大会事業支出	30,000,000
奨学金事業支出	20,000,000
広報事業支出	51,570,000
特別会計繰入金支出	54,000,000
予備費	15,000,000
次年度繰越金	14,449,213
合計	277,305,213

* 特別会計繰出としての執行内訳

	積立合計額
終身会費積立金繰出	50,000,000 (¥897,054,420)
会館建設基金繰出	2,000,000 (¥71,821,732)
名簿発行準備金繰出	500,000 (¥22,303,679)
記念大会準備金繰出	2,000,000 (¥7,608,755)
計	54,500,000

校友会本部役員

会長	山中 諄	'65経済	南海電気鉄道(株)取締役会長兼CEO	副会長	住野 公一	'70経済	(株)オートボックスセブン代表取締役CEO
副会長	浅賀 博	'58理工	パシフィックコンサルタンツ(株)調査役	副会長	村上 健治	'70産社	大和ハウス工業(株)代表取締役社長
副会長	渡邊 申孝	'58経済	東洋精機(株)取締役相談役	副会長	尾崎 敬則	'70法	尾崎総合法律事務所長
副会長	西村 義行	'60経済	農業自営	副会長	肥塚 浩	'87院経済	立命館副総長
副会長	清家 邦敏	'61経済	大成印刷(株)代表取締役社長	監事	久岡 康成	'67法	立命館大学法務室長
副会長	布垣 豊	'61法	京都中央信用金庫理事長	監事	佐竹 力総	'70法	(株)美濃古代表取締役社長
副会長	西村 隆	'63法	びわ湖放送(株)代表取締役社長	監事	林 幸雄	'73産社	(株)電広エイジェンシー代表取締役社長

常任幹事

茶谷 利夫	'58経済	中村 義孝	'67院法	水田 雅博	'76経済	山添 祥統	'86経済
中村 和歳	'61文	本津 絢子	'67経営	折戸 優兒	'76産社	小原 隆治	'87法
中野 友擴	'62文	渡辺 三彦	'68理工	加藤美佐子	'77文	加藤ニコル	'93国関
岸野 洋	'64法	北尾 陽扶	'71経営	小幡 豊	'78経済	恒吉 孝司	'95経済
村岡 治	'64理工	山下 勇	'72理工	佐野 哲夫	'82経済	野口 智久	'98経営
坂口 博翁	'65文	山本 啓幸	'73理工	村上 高久	'82法	大西 克樹	'03経済
辻 淳夫	'66経済	柴田 晃	'75経営	山岡 祐子	'83経済		

専門委員

総務委員会	担当副会長	西村 義行	'60経済	広報委員会	委員	宮西 徳明	'81法	
	委員長	中村 義孝	'67院法		山岡 祐子	'83経済		
	委員	荒木 徹	'59理工		安達 正哉	'84法		
		飛鳥井雅和	'64法		西村 仁	'85理工		
		山下 勇	'72理工		森 力	'95経済		
		木村 保和	'75経済		乾 光孝	'97文		
		三上 宏平	'77法		加藤 良直	'99経済		
		佐野 哲夫	'82経済		新實 和子	'06産社		
		村上 高久	'82法		田中 吉政	'07政策		
鈴木 治一	'91法	担当副会長	尾崎 敬則	'70法				
辻井 英吾	'93文	委員長	加藤美佐子	'77文				
財務委員会	担当副会長	浅賀 博	'58理工	IT委員会	委員	仲 治實	'69経営	
	委員長	渡辺 三彦	'68理工			柴田 直人	'89経営	
	委員	栗山 崇	'56法			横川 好治	'96経済	
		茶谷 利夫	'58経済			山口 洋典	'98理工	
		本津 絢子	'67経営			松本 淳	'98法	
		高橋 英幸	'69経済			片山 優香	'05文	
		重松 英樹	'74経営			担当副会長	西村 義行	'60経済
		嵯峨 法夫	'75法			委員長	柴田 晃	'75経営
		恒吉 孝司	'95経済			委員	田中保太郎	'67経済
大前 美郎	'99法	亀田 康治	'74法					
角本 紗織	'01産社							
広報委員会	担当副会長	尾崎 敬則	'70法	事業委員会	委員	大西 克樹	'03経済	
	委員長	中村 和歳	'61文			足利 祐典	'07産社	
	委員	小幡 豊	'78経済					
		高橋 英子	'78産社					

オール立命館 校友大会2008 (仮称)

立命館で学んだ人、学ぶ人、教え働く人…、
すべての立命館人に開かれた集いの場、オール立命館校友大会。
今年は会場を京都に戻し、
各世代の皆様にご満足いただける多彩なイベントを繰り広げます。
ぜひご参加ください!

日程 **2008年11月1日(土)~2日(日)**

会場 ■メイン会場: **ホテルグランヴィア京都** (JR京都駅ビル内)
■関連イベント会場: JR京都駅ビル イベントスペース
「室町小路広場」「駅前広場」他

開催予定イベント

11月1日(土)

- 立命館大学 校友会総会
- レセプションパーティー
- 立命館小学校見学ツアー
- 在学生・校友によるステージ

11月2日(日)

- 京都観光ツアー

※現在企画を準備中です。決定次第、順次校友会ホームページにてお知らせします。
※詳細は本誌秋号(No.234)にてご案内します。

◎お問合せ先

立命館大学校友会事務局(校友・父母課)

Tel.075-813-8216

<http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/>



RITSUMEX'08

昨年校友大会と合同開催し、総合学園立命館の首都圏でのプレゼンスアップに貢献したRITSUMEX。今年は立命館学園が主催し、立命館の姿を主に受験生や教育関係者にアピールするイベントとして開催します。

首都圏在住の若手校友有志による企画も実施予定です。母校の“いま”を感じにお越し下さい。

- 日時/ 2008年9月23日(祝・火) 12:30~17:00(予定)
- 会場/ 東京ドームシティプリズムホール(文京区後楽1-3-61)

※詳細決定次第、立命館大学ホームページにてご案内します。

校友会ネットワーク Alumni Association Network

2008年3月中旬～6月上旬に行われた各団体の行事です(判明分)

*詳しくは校友会ホームページをご覧ください

<http://www.ritsumeai.ac.jp/mng/al/>

都道府県校友会ほか

- 5/25 三重県校友会総会
(160名・ホテルグリーンパーク津)
- 6/8 静岡県校友会ALL-RITS校友の集い
(60名・クーポール会館)
- 6/8 徳島県校友会総会
(50名・阿波観光ホテル)

地域校友会

- 4/26 兵庫県校友会西宮支部総会
(27名・煉瓦館ホール)
- 4/26 愛媛県校友会宇和島支部総会
(25名・宇和島国際ホテル)
- 4/27 奈良若草会総会
(121名・ホテル日航奈良)
- 5/10 奈良県校友会天理わだつみ会総会
(34名・天理観光ホテル)
- 5/17 奈良県南和会総会
(50名・橿原ロイヤルホテル)



奈良若草会総会



奈良県校友会天理わだつみ会総会



兵庫県校友会西宮支部総会

職域校友会

- 3/6 神戸市教職員朋命会総会
(30名・ホテルモントレアマリー)
- 5/15 姫路市役所衣笠会
(33名・ホテル日航姫路)



姫路市役所衣笠会

- 6/4 高槻市役所槻立会総会
(50名・アンシュルデ・マリアーヂュ)
- 6/5 京滋観光の会総会
(50名・ホテルモントレ京都)

学部・学科校友会

- 3/20 英米文学同窓会総会
(30名・石長松菊園)
- 3/22 機友会総会
(120名・BKCローム記念館)
- 5/30 建設会広島支部総会
(70名・リーガロイヤルホテル広島)

サークルOB・OG会

- 3/8 日本拳法部創部50周年記念式典・祝賀会
(京都ホテルオークラ)
- 3/15 会計学研究会OB会総会
(50名・京都タワーホテル)

その他の会

- 4/6 法97J・L会総会
(13名・JR京都駅ビル「がんど」)
- 4/20 百万遍寮寮友会
(24名・石長松菊園)
- 4/29 千葉県校友会「第33回歴史地理探訪」
(45名・浦安地域)
- 5/24 '68卒ワンダーフォーゲルOB会総会
(20名・土肥温泉「椿荘」)
- 6/7 エース会総会
(10名・高野山根来寺)



法97J・L会総会



百万遍寮寮友会



千葉県校友会「第33回歴史地理探訪」

二〇〇八年日中青少年友好交流年 立命館大学訪中団が中国訪問

立命館学園は、「世界に開かれたアジア太平洋地域の教育・研究拠点」となることを「二〇一〇年の立命館中期計画2007-2010」で目標として掲げ、グローバル社会で通用する人材育成に向けた様々な取り組みを行っています。

これらを前進させるものとして、本年二月、立命館大学の学生・教職員が訪中し、様々な活動を展開しました。

学生・教職員総勢三〇八名という今回の本学訪中団の規模は、日本の大学としても、また受け入れた中国側にとっても、単独の大学からの訪問としては史上最大の規模となりました。

今後中国が世界において果たす役割は、ますます大きくなると予想されています。その中国において本学の学生の活躍や研究内容を紹介できたことは大きな成果と言えます。今回の交流は立命館の学生・教職員にとって、また日中の将来を担う青年学生にとって、大変有意義なものとなりました。

訪中の経緯

二〇〇七年四月、中国の温家宝首相が来学した際に、立命館大学硬式野球部と学生百名を中国に招待いただくご提案を受けました。硬式野球部は同年八月に中国を訪問し、北京市及び天津市選抜チームと親善試合を行うなど交流を深めてきました。

その後、同年末の温家宝首相と福田康夫首相との会談によって、日中平和友好条約締結三十周年である二〇〇八年を「日中青少年友好交流年」とすることが決定され、中国と日本の両政府がそれぞれ千名の青年・学生を招待しあうことになりました。温家宝首相による本学の学生百名の招待は、中国政府が招待する千名の中に位置づけられました。

また、北京で「日中青少年友好交流年開幕式典」が実施されることになり、この式典に本学のチアリーダー部・吹奏楽部員約百二十名が日本を代表

して出演することになりました。あわせてこの機会に北京大學・北京航空航天大学・上海交通大学において交流を実施することとなりました。

活動内容

北京大學・北京航空航天大学・上海交通大学との交流

① 北京大學・立命館大学交流デーの実施 (3月14日(金))

北京大學とは、「北京大學・立命館大学交流デー」を実施し、学生フォーラム・研究フォーラム等を行いました。北京大學は一八九八年創立の中国最高峰の総合大学で、立命館大学とは一九九九年「協力協定」を締結して以来の交流があります。



学生フォーラムでは、「新しい日中協力とその内容と可能性」のテーマのもとで、両大学の学生が熱心なディスカッションを展開。研究フォーラムにおいては、「情報・ロボット・マイクロ機械」「環境」及び「ファイナンス」領域についてシーズ発表と交流をしました。学生フェスティバルでは、立命館大学から書道部、邦楽部、バトントワリング部、舞のこ（ストリートダンスサークル）等の学生が演技を披露。書道部・囲碁研究部の学生は中国の学生たちと、書の技の披露や囲碁の対戦によって交流しました。

なお、北京大學には、今回の交流を記念して「立命館文庫」として図書二千冊を贈呈する予定です。

② 北京航空航天大学との交流 (3月13日(木)・15日(土))

北京航空航天大学は、高い水準の航空・宇宙技術を担う人材育成を行う大学です。



大変な歓迎ムードの中、三月十三日(木)に書道・囲碁による学生交流、学生フォーラム、両大学の学生団体による学生フェスティバルを行い、三月十五日(土)には研究者交流を行いました。

③ 上海交通大学との交流(3月11日(火))

上海交通大学は一八九六年に創立された総合大学です。立命館とは二〇〇二年「協定協力協定書」の締結以来の交流があり、二〇〇四年からは学生交換が実施されています。

上海交通大学においても、先に述べた二つの大学と同様に、学生学術フォーラム及び両大学学生団体による学生フェスティバルを実施しました。

日中青少年友好交流年開幕式典への参加(3月15日(土))

この開幕式典には立命館大学チアリーダー部・吹奏楽部が招待され、演技・演奏を担当しました。また、舞stageは中国の青年と共演し、書道部は中国の青年とともに胡錦濤国家主席とも交流することができました。



会場の中国人民大学の体育館には両国の若者約二千名が参集。胡錦濤国家主席が挨拶し、福田康夫首相・温家宝首相も両国関係の重要性を示したメッセージを送るなど、国家的な行事は大変な盛り上がりを見せました。

ALL立命館 Party in 北京の開催(3月15日(土))

立命館大学・立命館アジア太平洋大学の校友・父母、立命館大学で行っている中国の大学管理運営幹部特別研修への参加経験者、教職員など約四百四十名が集いました。

文学部に京都学コース等を設置

文学部は、二〇〇九年度から人文科学人文総合科学インスティテュート「総合プログラム」を再編し、「京都学プログラム」と「言語コミュニケーションプログラム」を設置することになりました。

「京都学プログラム」は、



京都の歴史や文化、現在の景観政策などを研究することで日本文化の価値を見いだす「京都学」を学ぶコースで、定員は六十名。一回生から「京都学概説」やゼミで基礎を固め、二回生以降に「京都学フィールドワーク」などで地域をより深く理解します。「京都学」を四年間のプログラムとして設けるのは全国の大学で初めてのことです。

「言語コミュニケーションコース」も定員六十名。アナウンサーや日本語の指導者ら言語にかかわる職業を担う人材の養成を目指します。

大日本スクリーン製造(株)とロボットの技術共同開発へ

二〇〇八年四月から大日本スクリーン製造と共同でロボット技術の開発プロジェクトを開始しました。立命館大学の持つロボット技術に、大日本スクリーン製造の画像情報処理技術を組み合わせます。

このプロジェクトは、理工学部・情報理工学部の教員と大日本スクリーン製造の技術開発カンパニーに新設したロボット技術推進部の技術者などで推進します。

プロジェクトの期間は三年間。二〇〇九年度に水中の鮮明な撮影や魚などの追跡、サンプル採取などができる水中探査ロボットを開発、琵琶湖で実証実験を行います。二〇一〇年度には視覚制御システムの事業化を図ります。

立命館守山高等学校 サイクルテック講座を実施

五月十日(土)、立命館守山高等学校は松下電器産業(株)及び滋賀県自転車軽自動車商業組合と、「サイクルテック講座」を実施しました。

この講座は全七回。初回の今回は、松下電器産業(株)の子会社であるパナソニックサイクルテック(株)の商品開発部の方が自転車の歴史や走行する仕組みを説明。今後は自転車の分解や再組み立ての作業などを通じ、物理的・工学的な仕組みを学んでいきます。

「サイクルテック講座」をコーディネートするのは、立命館大学の校友である赤尾修二さん(京都市立洛陽工業高等学校定時制勤務、72理工)。赤尾さんは、「美しい自然環境を大切にするには、環境(自然)、科学技術、人間(心)がバランスよく融合的に発展することが課題です。技術教育においても『手を使い、頭で考え、心を高める』という総合的なバランス感覚が大切です。この実習を通して、根本的な見方、考え方、モノづくりに懸ける熱い思い(心)を知って下さい」と語っています。



大南正瑛・元立命館大学長が「瑞宝重光章」を受章

大南正瑛・元立命館大学長が、二〇〇八年春の叙勲にて、「瑞宝重光章」を受章されました。

大南元学長は、一九九一年に立命館大学長に就任。国際化の推進、科学技術の拡充に対してリーダーシップを発揮するとともに、日本私立大学連盟においては調査委員会担当理事、学長会議運営委員をつとめ、財団法人大学基準協会においては理事、会長をつとめるなど、日本の教育研究の高度化のために尽力されました。

立命館大学校友会 ロゴマークができました!!

昨年10月の誕生以来、はや8か月。

新リッツマーク **R** は、立命館学園関係者の中で親しみをもって迎えられています。

そしていよいよ、この新リッツマークを配した校友会ロゴマークが、満を持して登場しました。

R に、Alumni(同窓生・校友の意)のデザインフォントをあしらっています(ロゴ1)。

ロゴマークの下部に、各都道府県名やサークル名などのローマ字表記を組み合わせて使用することも可能です(ロゴ2)。

校友会活動の活性化に、親しい仲間同士のきずなを強めるために、校友会ロゴマークをご活用ください。

※校友会ロゴマークの使用にあたりましては、その都度必ず校友会事務局までご相談ください。

●ロゴ1



●ロゴ2



立命館学園からのご願い

ミャンマー・サイクロン、

中国・大地震の

災害支援にご協力ください

二〇〇八年五月四日、ミャンマーを大型サイクロンが襲い、続いて五月十二日には中国四川省を震源とする大地震が発生し、未曾有の大災害となりました。

このような状況のなか、立命館大学、立命館アジア太平洋大学の留学生を中心とする学生などによる自主的な募金活動が活発に行われています。

今回の大災害の特徴の一つは、両国とも初等中等教育施設が極めて大規模な被害を被っている点にあります。学園は、立命館憲章の精神のもとに災害復興支援を実施していくために、災害支援推進委員会(委員長 川口清史総長)を設置し、学生・生徒、教職員等の自主的な活動を支援するとともに、国際化を推進している学園に相応しい支援を行なっていくことといたしました。学園内外から広く募金を集め(目標額三千万円)、両国の教育復興への支援、協力を行って参ります。

支援活動、募金活動の詳細は、今後ホームページを通じてお知らせして参ります。皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

※校友会といたしましても、有効な支援のあり方について検討中です。あわせてご協力をお願いいたします。



「No Triathlon, No Life」 挫折を乗り越え、掴んだユニバーシアードの切符

2007年8月、香川県観音寺市で行われた2007日本学生トライアスロン選手権観音寺大会において、体育会トライアスロン同好会の田中潤さん（経済学部4回生）が3位入賞を果たした。

その結果、2008年6月にトルコで行われるユニバーシアード（学生世界選手権）への初出場が決まった田中さん。

今回は田中さんに日本代表として大会に出場する思いや意気込み、そしてトライアスロンの魅力を伺った。

ユニバーシアードへの出場おめでとうございます。今回、日本代表選手に選ばれた経緯や感想を教えてください。

ユニバーシアードは2年に1度選考があり、前は実力が伴わず出場できませんでした。今回は、昨年8月の観音寺大会で3位入賞、そして10月の日本選手権で上位に入ることができ、ユニバーシアードへの出場が決まりました。選考レースとなった観音寺大会はとても気温が高く、試合は接戦になりました。レース中、これまでの厳しい練習や様々な苦勞が頭に浮かび、最後まで粘ることができました。ゴールした瞬間涙が出るなど、今までの試合の中で一番感動した大会でした。

「代表選手に選ばれた」という実感は徐々にわいてきました。選ばれてからは、意識が変わり、一日一日を今までより大切に練習す



るようになりました。自分の武器である自転車の能力を伸ばしつつ、苦手な水泳の強化のため、泳ぐ距離を増やしたりもしています。

では次に田中さんがトライアスロンを始めたきっかけや、トライアスロンの魅力について教えてください。

トライアスロンは水泳・自転車・マラソンを組み合わせた競技で、私はオリンピックディスタンスという水泳1.5km、自転車40km、マラソン10kmのコースに出場しています。小さい頃からずっと野球と駅伝をやっていて体力に自信がありましたが、中学2年生の時に偶然、シドニーオリンピックをテレビで見ているとトライアスロンを知り、この競技なら世界で戦えるのではないかとひらめきました。その後は、高校でも野球を続けていましたが、高校2年生の時、トライアスロンでプロになりたいと思い、陸上部に移りました。練習を始めた当初は水泳が苦手だったので、甘い理想と厳しい現実のギャップを感じましたが、「努力したら必ずトップになれる」と強い気持ちを持って、常に世界を目指して練習を重ねました。

トライアスロンの魅力は、3種目を通してトータルで戦えるところですね。種目が3つあるので、その競技ごとにさまざまな人と話すようになり積極的になりました。今までで一番辛かったのは2回生の時、優勝をねらって出場した日本学生トライアスロン選手権でした。ラスト1kmというところで熱中症になってしまい完走できなかったんです。力が発揮できず、その時は本当にトライアスロンを辞めようかと思ひ悩みました。1ヶ月くらいは何もせず過ごしていましたが、コーチや周りの支えや励ましもあり、やっぱり自分にとって「No Triathlon, No Life」だと気づき、もうトライアスロンしかない、まだ可能性がある自分を信じて立ち直りました。そのとき、立ち直らなかつたら今の

輝いています、
ときの人

J u n T a n a k a



田中 潤さん

経済学部 4回生

トライアスロン同好会 ユニバーシアード日本代表

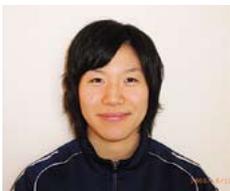
自分ではなかつたでしょう。

田中さんにとってトライアスロンは人生の一部なのですね。ユニバーシアードでの目標や今後の目標を聞かせてください。

ユニバーシアードでは入賞することを一つの大きな目標としていますが、まずは試合自体を楽しんで、その結果が入賞という成果につながればいいと思います。

また、試合以外では周りの人たちに少しでもトライアスロンを知ってもらうために、大阪で関西圏の子供を集めてキッズスクールを開いたり、大学でもトライアスロンについての話をしたりと積極的に活動しています。社会人になっても実業団などに入り、自分のライフスタイルの核としてトライアスロンを続けていきたいですね。今後は出演してみたいと思っているテレビ番組「ジャンクSPORTS」に出られるような有名選手になり、いずれはロンドンオリンピックに出場したいと考えています。

権で自己新のトータル210キロを挙げ、日本記録を更新。五輪出場が予想される選手を対象にした69キロ級の世界ランクで9位に入ることが評価され、女子3人の枠に選ばれた。



**〈パラリンピック水泳〉
江島大佑 選手('08産社)**

50mバタフライ世界ランキング4位の記録を誇る選手であり、水泳日本代表チームのキャプテンとして活動。前回のアテネパラリンピックの男子メドレーリレーで銀メダルに輝いた実績を持ち、今回は50mバタフライ、100m背泳ぎ、200m個人メドレーの3種目に出場が決定している。



かるた会

**第74回全国かるた競技学生選手権大会
(3月22日 東京都江戸川スポーツセンター)**

- ▶ A級優勝 江戸香織 (産社4)
- ▶ A級準優勝 上田貴之 (経済3)

学生日本一を決めるこの大会では、今回の優勝により、71回大会から4回連続で立命館大学かるた会部員が優勝を成し遂げている。

8月に行われる予定の第75回大会での5連覇に期待がかかる。

全国各地の中学から大学までの5人1組による全92チームのリーグ戦の結果、上位4チームがプレーオフ(優勝決定戦)に進出した。プレーオフで立命館大学Aチームは、東京大学Bチーム、岩手高校に勝利、見事優勝を果たした。今回は、「第60回全日本アマチュア将棋選手権」準優勝の古屋皓介さん(文3)を中心に、見事なチームワークを見せての勝利であった。

**第37回全国支部将棋名人戦東西決戦
(5月11日)**

- ▶ 優勝 古屋皓介(文3)

この大会は、日本将棋連盟が主催し、同連盟の全国の支部会員および個人会員のみで行われるアマチュア将棋の主要な大会の一つ。各都道府県単位の予選を勝ち抜いた代表選手による大会が東西それぞれで行われ、その後東西の優勝者による決戦が行われる。

将棋研究会創部以来初めて、この大会の優勝者となった古屋さんは、「アマチュア一般の全国タイトルを取るという大きな目標が達成できたのでとても嬉しいです。他にもアマチュアや学生の全国タイトルを取りたいです。また将棋研究会としては年末の学生王座戦の優勝奪還を目指しているので、みんなで力をあわせて頑張っていきたいです」と語った。



第89回全国職域学生かるた大会(団体)

- ▶ A級準優勝 立命館大学Aチーム
- ▶ A級6位 立命館大学Bチーム

団体戦でも好調の立命館大学。昨年夏6年ぶりに優勝した「全日本大学かるた選手権大会」で、この夏も栄冠に輝くことが期待される。

将棋研究会

**Kirin Beverage Cup
第11回学生将棋選手権**

- (3月29日~31日 大阪ハートンホテル南船場)
- ▶ 団体戦優勝 立命館大学Aチーム(3年連続)
 - ▶ 個人戦ベスト4 増本敬(経済2)



**立命館大学JAZZ CLUBの
ビッグバンドがイギリスの
JAZZ BANDと合同LIVEを開催**

(3月22日 衣笠キャンパス)

「BILLY SPANGLES GROUP JAZZ LIVE with Ritsumeikan University Swingin' Herd Jazz Ensemble」が開催され、課外自主活動を通じた国際交流の場となった(この取り組みは「UK-JAPAN 2008」に基づいて行われた)。約100名の観客が訪れた。

CULTURE / ART

文化・芸術

問い合わせ先: 学生オフィス
075-465-8168

学芸フェスティバル開催

(4月21日~23日 衣笠キャンパス)

音楽・表現・伝統文化系のサークル18団体が集い、展示会や発表会、ワークショップなどを行う学芸フェスティバルを開催した。これまでも冬季にBKCで開催してきたが、春季に10以上の団体が参加しての学芸フェスティバル開催は初の試み。

4月21日には、フェスティバルの一環として、能楽部が第26回新能を行った。

SPORTS & EVENTS

S P O R T S

スポーツ

問い合わせ先：スポーツ強化センター
075-465-7863

硬式野球部

関西学生野球六大学春季リーグ戦
(4月5日～5月27日 西京極野球場 他)

▶ 準優勝



卓球部

平成20年度春季関西学生卓球リーグ戦
(5月17日～6月1日 近畿大学記念体育館 他)

- ▶ 男子団体 優勝
- ▶ 女子団体 優勝

バドミントン部

平成20年度関西学生バドミントン春季リーグ戦

(5月5日～5月16日 龍谷大学体育館 他)

- ▶ 女子団体 優勝

柔道部

第16回関西学生女子柔道優勝大会
(5月25日 尼崎市記念公園総合体育館)

- ▶ 女子団体 優勝

弓道部

第52回関西学生弓道選手権大会
(5月18日 グリーンアリーナ神戸)

- ▶ 女子個人優勝 四ノ宮明日香(国関4)

アメリカンフットボール部

ひょうたんボウル
(4月29日 長浜ドーム)

▶ ○42-0 神戸大学

フラッシュボウル
(5月11日 EXPO FLASH FIELD)

▶ ○16-3 京都大学

ラグビー部

春の立同戦
(5月17日 宝が池球技場)

▶ ○45-19 同志社大学

同志社大学に先制を許したものの、立命館大学は着実に得点を重ね、前半のうちに逆転し、45対19で快勝した。

1回生による25分ハーフの試合も行われた。立命館大学の新生入生たちはボックスの展開力を活かして左右にボールを動かし、19対10で快勝した。



居合道同好会

第33回 全国各流宇和島居合道大会
(4月20日 宇和島総合体育館)

- ▶ 段外の部 準優勝 菅大輔(法2)
- ▶ 四段の部 3位 石橋剛(産社3)

相撲部

第48回 全国選抜相撲宇佐大会
(5月3日 大分県宇佐市)

- ▶ 団体戦 ベスト8

同大会には、全国から選抜された12大学からおよそ100名の選手が出場し、立命館大学相撲部からは7選手が出場した。

また、立命館アジア太平洋大学(APU)か

ら、インドネシアやオーストラリアなど21カ国・地域からの国際学生約50人が応援にかけつけ、会場には「立命コール」が響き渡った。応援に駆けつけたAPU学生のほとんどが相撲を直接見たことがなく、その試合に非常に感動した様子で、選手と記念撮影を行ったり、相撲について教わるなど、APU学生と相撲部の交流も活発に行われた。



北京オリンピック・パラリンピック出場決定校友

次の3名の方々が、この夏開催される北京オリンピックに出場します。応援よろしくお願ひします。

〈セーリング49er級〉

牧野幸雄 選手('04経済)

卒業後、470級ナショナルチーム、2005年にはレーザー級ナショナルチームに入団。同年、今回の



オリンピック出場種目でもある49er級(2人乗り)を始め、2007年からナショナルチームに選ばれた。49er級はバランスがとりにくく、操縦が難しい競技で、スピードもヨット競技ではトップクラス。

〈重量挙げ69キログ級〉

齋藤里香 選手('06産社)

国内最終選考会を兼ねた4月のアジア選手

約8000名の新しい校友会員を迎えた4月から、もう3ヶ月が過ぎようとしている。各地の校友会では、新会員歓迎の会が盛大に開催されているようだ。それ以外にも、同期会、クラス会、専攻会などが、いろいろと開かれている。

先日、1960年前後に卒業したクラブ仲間が集まり、浜名湖でOB会を開催した。参加者15名であったが、話題は尽きなかった。今年度の立命館大学の入学式に参加した感動を「我が時代と隔世の感がある。留学、国際人を目指すことの推奨、英語教育が素晴らしい」と語り合い、続いて、校友会から送付して頂いたCrossroads、立命スポーツ、そして、校友会報りつめい232号の内容について深夜まで語り明かした。参加した仲間の一人に、232号の「特集」に登場された宮岡昌宣氏の先輩が居られ、宮岡氏の向学心を親しく語られた。そして、「自由席」で紹介されていた兵庫県校友会西宮支部の活動の補足説明もなされ、多様な話題で旧交を温めた。

この体験を先輩に伝えたところ、山口県での英米文学同窓会同期会でも、大いに盛り上がり、話題を提供できたようだ。今後も校友会報をはじめ、大学の資料を基に、大いに各会の活動を盛り上げたいものだ。(KAZ)

この5年の間に、義父を亡くし、もっとも尊敬する恩師と大切な先輩を失った。昨年満開の桜の季節に、西行が好きだった先輩がガンで逝ってから、いまだに気持ちの整理ができない。今の自分の生き方に大きな影響を与えられ、常に目標にしてきた先輩だった。人は必ず死ぬという、当たり前すぎるのが受け入れられない死を持って去っている。

古代ギリシャの人々は、死に向かってまっすぐに歩いて、人間の絶望の運命ゆえに、せめて生ある短い時を充実して生きようと、太陽のごとく明るい芸術を生み出したという。

哲学の命題は「世界と人間を解き明かすこと」、宗教の目的は「生と死への恐れを解き放つこと」だと思う。人間を扱う分野として、今年から「生命科学」部が新しく開設された。生命そのものがテーマとなる学問、今後の展開を大いに期待している。(M.K.)

広報委員会に所属していると新聞や雑誌の母校の記事にすぐ目が行ってしまいます。

最近もある月刊誌に「立命館」は「株式会社」のように学生やその父母を「顧客」として大切に、改革を続けていると報じられました。日頃母校と関わっている我々には普通の記事でも、今昔の感をお持ちになる校友もおられるかと思えます。これからも我々は改革を続ける母校の今を校友の視点でお届けしてまいります。(宮西徳明)

校友会・グループ インフォメーション

※(職)は職場電話番号

校友会・グループ	日時	会場	問い合わせ先
大阪校友会年次大会	7/ 4 (金) 18:30	ザ・リッツカールトン大阪	大阪オフィス 06(201)3610
富山県校友会総会	7/ 5 (土) 16:00	名鉄ヤマホテル	吉野 久幸 (職)076(431)2201
山口周南地区校友会総会	7/ 5 (土) 18:00	ホテルサンルート徳山	小西 ヨシ子 0833(41)0412
滋賀県校友会総会	7/ 6 (日) 12:00	ボストンプラザ草津	徳田 克彦 077(521)2054
京都八幡支部総会	7/ 6 (日) 10:00	朱雀キャンパス	岡島 完治 075(983)3063
岩手県校友会総会	7/13 (日) 14:00	ホテル・ニューカリーナ	大橋 謙一 019(623)6575
長野県校友会総会	7/13 (日) 15:30	松本グリーンホテル	山田 耕一郎 0263(25)0089
秋田県校友会総会	7/19 (土) 15:00	ホテルメトロポリタン秋田	兜森 勲夫 018(834)6871
愛媛県校友会総会	7/19 (土) 17:00	東京第一ホテル松山	石田 二郎 089(925)2547
神奈川県校友会総会	7/26 (土) 16:30	崎陽軒本店	長谷川 貞栄 045(933)4662
岐阜県校友会総会	7/26 (土) 17:00	ホテルグランヴェール岐阜	折戸 優児 (職)058(251)2240
沖縄県校友会総会	8/ 2 (土) 18:30	ホテルロイヤルオリオン	山城 孝智 098(887)1024
昭和63年土木工学科卒業20周年同窓会	8/ 9 (土) 17:00	ホテル松井	福岡弘一朗 090(8216)3248
岡山県校友会総会	8/30 (土) 18:00	ホテルオークラ岡山	守屋 博司 086(232)0945
2008ALL立命館交流パーティー	8/30 (土) 12:00	立命館慶祥中・高	立命館慶祥中・高事務室 011(381)8888
清和会ALL Rits ステージコンサート	10/4 (土) 12:00	円山公園 野外音楽堂	立命館中・高事務室 075(645)1051
清和会総会	10/4 (土) 17:30	ウエルティン都ホテル京都	立命館中・高事務室 075(645)1051
兵庫県校友会総会	10/18 (土) 11:00	加古川プラザホテル	寺田 豊 (職)06(6429)9906
Rちば校友の集い	10/19 (日) 15:00	船橋グランドホテル	山本 良夫 047(422)3270
兵庫県淡路支部校友会総会	10/19 (日) 11:30	サンライズ淡路	高田 貴代志 0799(84)1826
オール立命館校友会大会2008	11/ 1 (土) 午後	ホテルグランヴィア京都	校友会事務局 075(813)8216
鳥取県西部校友会総会	11/21 (金) 18:30	米子全日空ホテル	大野木 昭夫 (職)0859(32)3308
福岡県校友会総会	11/21 (金) 18:00	ソラリア西鉄ホテル	清家 邦敏 (職)092(472)2621
国際関係学部校友会総会	11/22 (土) 15:30	衣笠キャンパス	国際関係学部事務局 075(465)1211
マスコミ研究会OP会総会	11/22 (土) 13:00	五条歌舞練場	北園 了三 06(6730)4199
東京校友会総会	12/ 6 (土) 11:00	品川プリンスホテル	東京オフィス 03(5204)8611

校友消息(判明分)

就任

- 高崎秀夫氏(67法)
(株)京都銀行 専務取締役
- 古谷寛氏(69産社)
イオンデパート(株) 取締役会長
- 中山良徳氏(69経済)
三交不動産(株) 社長
- 粕井憲氏(69経済)
(株)南都銀行 専務取締役
- 堀内保男氏(69経営)
(株)南都銀行 専務取締役
- 栗田康文氏(73産社)
(株)京都銀行 執行役員
- 北山裕治氏(74経済)
(株)京都銀行 執行役員
- 早川正氏(75産社)
(株)読売新聞東京本社 執行役員北海道支社長
- 仁科秀逸氏(76理工)
(株)モリテックス 代表取締役社長
- 神谷和秀氏(79経営)
イオンクレジットサービス(株) 代表取締役社長
- 和田昇氏(93理工)
(株)瑞光 代表取締役社長

叙勲2007年秋分

- 瑞宝中綬章
辻寛氏(62法)
元兵庫県入納長

叙勲 2008年春分

- 瑞宝重光章
大南正瑛氏(54理工)
元立命館大学長
- 瑞宝中綬章
堀田親文氏(本学名誉教授)
立命館大名誉教授
- 山脇康典氏(62法)
元滋賀県副知事
- 旭日小綬章
中山一幸氏(57法)
元伊勢市議
- 早瀬善男氏(58経済)
京都商店街振興組合連合会理事長
- 牧野庄三氏(58経済)
元(株)新潟放送社長
- 瑞宝小綬章
上野英三氏(49文)
元公立高校長
- 奥村幸一氏(54経済)
元京都府監査委員事務局長

- 牧野尚氏(55法)
元衆議院参事(議長秘書)
- 谷健一郎氏(56法)
元国立療養所東京病院事務部長
- 梅本潤一郎氏(61法)
元京都地検事務局長
- 勝義隆氏(62法)
元滋賀県商工労働部長
- 旭日双光章
駒井正彦氏(57経済)
兵庫県ラグビーフットボール協会会長
- 笹田徳三郎氏(58法)
元愛媛県議会議員
- 本多達郎氏(58文)
元鳥取市議会議員
- 瑞宝双光章
山下捨夫氏(49専文)
元国鉄職員
- 佐名木良明氏(53法)
元公立小学校長
- 青木信一氏(54法)
元公立中学校長
- 松田栄博氏(55法)
元京大工学部事務部長
- 西森久米太郎氏(59法)
元高知県教育長

- 旭日単光章
西川善通氏(59経済)
元宇治田原町代表監査委員
- 瑞宝単光章
井上勝氏(67法)
元日本郵政公社職員

危険業務従事者叙勲 2008年春分

- 瑞宝双光章
畑崎昌彦氏(58文)
警察功労
- 瑞宝単光章
岩崎恭一郎氏(66法)
矯正業務功労

褒章 2008年春分

- 黄綬褒章
川島健太郎氏(67法)
スミヤ代表取締役

訃報

- 真田哲郎氏(本学名誉教授)
3月11日逝去。90歳。
- 野村純孝氏(本学名誉教授)
3月17日逝去。94歳。

BOOKS

校友会へご惠贈下さいました本の中から紹介させていただきます。

- ◆杉野國明氏(本学名誉教授)著 『観光京都研究叙説』 文理閣*15000円+税
- ◆小川竹二氏(60経済)著 『災害と破綻のまから分権型の政令市へー私論・豊栄市史現代編一』 新瀬日報事業社*3619円+税
- ◆井上雅彦氏(84文)著 『伝え合いを重視した高等学校国語科カリキュラムの実践的研究』 溪水社*3800円+税
- ◆佐久間野百合氏(97文)訳 『ワトソンの選択』 長崎出版*2200円+税

りつめい No.233/2008年7月号

発行所/立命館大学校友会/年4回発行
 発行人/山崎 諄
 編集人/尾崎 敬則
 〒604-8520 京都市中京区西ノ京朱雀町1
 Tel. 075(813)8216
 Fax. 075(813)8217
 URL: http://www.ritsumei.ac.jp/mng/al/
 E-mail: alumni@st.ritsumei.ac.jp